

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
中小企業会計学 Accounting Study of the Small and Medium		情報メディア学科	1年次	後期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	2	選択	福原 道照	
概要				
<p>企業において日常発生する企業外部との取引を記録・計算・整理する方法について、複式簿記による基本的な処理を学ぶ。授業内容のレベルは、日商簿記検定3級程度である。</p>				
到達目標				
<p>(1) 複式簿記による企業の取引活動の基本的処理方法を記録・整理できる。 (2) 複式簿記によって、企業の日常の取引について仕訳と転記ができる。 (3) 決算の意味や目的及び決算整理の必要性を理解し、決算整理の処理ができる。 (4) 財務諸表（損益計算書と貸借対照表）の作成ができる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス、簿記の概要 2 取引と仕訳・転記 3 取引の記帳① ー現金預金ー 4 取引の記帳② ー商品売買ー 5 取引の記帳③ ー手形ー 6 取引の記帳④ ー有価証券と固定資産ー 7 取引の記帳⑤ ーその他ー 8 帳簿 9 試算表 10 伝票会計 11 決算① ー決算整理ー 12 決算② ー精算表ー 13 決算③ ー損益計算書・貸借対照表ー 14 総合問題演習① 15 総合問題演習② 				
テキストおよび 参考文献	<p>テキスト：「日商簿記3級 合格これ1冊 第3版」 寺尾 芳樹 企画・執筆 ネットスクール出版 参考文献：「みんなが欲しかった 簿記の教科書 日商3級 商業簿記 第7版」 滝澤 ななみ 著 TAC 出版</p>			
メッセージ など	<p>復習を十分に行う必要があります。</p>			

ループリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 複式簿記による企業の取引活動の基本的処理方法を記録・整理できる。	ほぼ完璧に学習内容を記録・整理できる。	大きな間違いがなく、学習内容を記録・整理できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の学習内容を記録・整理できる。	学習内容を記録・整理できていない。	課題レポート(関心・意欲・態度・思考力・判断力・表現力)	50%
(2) 複式簿記によって、企業の日常の取引について仕訳と転記ができる。	ほぼ完璧に仕訳・転記ができる。	大きな間違いがなく、仕訳・転記ができる。	間違いはいくつかあるが、最低限の仕訳・転記ができる。	仕訳・転記ができていない。		
(3) 決算の意味や目的及び決算整理の必要性を理解し、決算整理の処理ができる。	ほぼ完璧に決算整理の処理ができる。	大きな間違いがなく、決算整理の処理ができる。	間違いはいくつかあるが、最低限の決算整理の処理ができる。	決算整理の処理ができていない。	定期試験(知識・理解)	20%
(4) 財務諸表(損益計算書と貸借対照表)の作成ができる。	ほぼ完璧に財務諸表の作成ができる。	大きな間違いがなく、財務諸表の作成ができる。	間違いはいくつかあるが、最低限の財務諸表の作成ができる。	財務諸表の作成ができていない。		